NO.

087

言語 多言語社会

Living with Many Languages

多くの言語とともに暮らす

英文の音声

レベル ★★☆ やや難 | 297語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 For many Japanese people, living with one language seems natural. Yet in much of the world, speaking two or more languages is normal rather than exceptional. Switzerland has four national languages, and in Singapore, children often speak one language at home and another at school. People in such places ❶**come into contact with** several languages every day.

2 A multilingual society has clear benefits. Children who grow up with two languages ❷**get to** know two cultures from the inside, and many ❸**are proud of** this double identity. Some researchers have claimed that bilingual people ❹**have an advantage over** others in switching between tasks, although the evidence remains mixed. What is clear is that being able to speak to neighbors in their own language builds trust.

3 Multilingualism also brings challenges. Newcomers may ❺**have trouble finding** work if they ❻**are poor at** the main language, and officials who receive a form in an unfamiliar language may ❼**be at a loss** about how to help.

4 There is also a danger that smaller languages will ❽**yield to** larger ones. When parents believe that a major language offers better jobs, they may stop speaking their own language at home. If a language is not ❾**passed down** to the next generation, it can disappear within a few decades. In Japan, only a small number of people now speak the Ainu language fluently, though efforts to revive it are growing.

5 English is ❿**by far** the most widely studied foreign language today. Yet learning English need not mean losing other languages. Children often ⓫**take to** a new language quickly when they hear it used naturally, and languages that look very different often ⓬**have more in common** than we think. A truly multilingual society is one in which no one has to choose between opportunity and heritage.

語注 **exceptional** 例外的な **identity** アイデンティティ・自分らしさ **official** 職員・役人 **revive** 復活させる **heritage** 受け継がれてきた文化・遺産

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 come into contact with ~ ～と接触する・触れる □□□
人・物・考えなどに出会うこと。be in contact with ~（～と接触している）、lose contact with ~（～と連絡が途絶える）もある 例 *Doctors come into contact with many sick people every day.* 医師は毎日多くの病人と接する。

2 get to do ～するようになる □□□
経験を重ねて自然にそうなる。get to know（知り合いになる・分かるようになる）が最頻出。come to do とほぼ同じ
例 *I got to know him well during the trip.* その旅行の間に彼のことがよく分かるようになった。

3 be proud of ~ ～を誇りに思う □□□
take pride in ~ / pride oneself on ~ と書き換え可。前置詞が of / in / on と違う点が頻出 例 *She is proud of her son's success.* 彼女は息子の成功を誇りに思っている。

4 have an advantage over ~ ～より有利である □□□
over は「～を上回って」。have the advantage of ~（～という利点がある）と区別。反対は be at a disadvantage
例 *Tall players have an advantage over short ones in basketball.* バスケットボールでは背の高い選手が有利だ。

5 have trouble (in) ~ing ～するのに苦労する □□□
have difficulty (in) ~ing と同じ。in は省略されることが多い。to 不定詞は使わない点が文法問題で狙われる 例 *I had trouble finding the station.* 駅を見つけるのに苦労した。

6 be poor at ~ ～が下手である □□□
be good at ~ の反対。be bad at ~ も同じ意味。at の後ろは名詞か動名詞 例 *I am poor at remembering names.* 私は人の名前を覚えるのが苦手だ。

7 be at a loss 途方に暮れている □□□
どうしてよいか分からない状態。be at a loss for words（言葉に詰まる）、be at a loss what to do（どうしてよいか分からない）の形も多い 例 *I was at a loss when I lost my wallet abroad.* 外国で財布をなくして途方に暮れた。

8 yield to ~ ～に屈する・道を譲る □□□
圧力・要求・誘惑に負ける。give in to ~ / give way to ~ と近い。交通標識の YIELD は「譲れ」 例 *The government refused to yield to pressure.* 政府は圧力に屈することを拒んだ。

9 pass down ~ （次の世代へ）～を伝える □□□
上から下へ渡す→先祖から子孫へ伝える。hand down ~ と同じ。受け身 be passed down from generation to generation（代々伝えられる）が頻出 例 *This recipe has been passed down in my family for years.* このレシピは何年も私の家に伝わっている。

10 by far はるかに・ずば抜けて □□□
最上級や比較級を強める。by far the best（ずば抜けて一番よい）の語順に注意。much / far も比較級を強められる
例 *This is by far the most interesting book I have read.* これは私が読んだ中でずば抜けておもしろい本だ。

11 take to ~ ～を好きになる・なじむ □□□
人や物事に自然と引かれる。take to A at once（すぐに A を気に入る）の形が多い。take to ~ing（～する習慣がつく）の意味もある 例 *The children took to their new teacher right away.* 子どもたちはすぐに新しい先生になついた。

12 have ~ in common (with ...) （...と）～を共通に持つ □□□
~ には much / a lot / nothing / something などが入る。have nothing in common は「共通点が全くない」 例 *My sister and I have a lot in common.* 姉と私には共通点が多い。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第2段落の内容と一致するものはどれか。

① 二言語を話す人が作業の切り替えで有利だという主張については、証拠がまだまちまちである。
② 二つの言語で育つ子どもは、どちらの文化も十分には理解できない。
③ 二言語を話す人はすべての点でほかの人より優れていることが証明された。
④ 隣人と同じ言語で話すことは、信頼にはほとんど関係がない。

問2 第4段落によると、小さな言語が消えていくのはどのような場合か。

① 政府がその言語の使用を法律で禁止した場合。
② 親が主要な言語のほうが有利だと考え、子どもに伝えなくなった場合。
③ 子どもが学校で外国語を学びすぎた場合。
④ その言語を研究する学者がいなくなった場合。

問3 What is the author's view of learning English?

① People should stop learning English to protect small languages.
② English will soon replace all other languages.
③ Children find it very hard to learn a new language.
④ Learning English does not have to mean losing other languages.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 〜と接触する・触れる
2 〜するようになる
3 〜を誇りに思う
4 〜より有利である
5 〜するのに苦労する
6 〜が下手である
7 途方に暮れている
8 〜に屈する・道を譲る
9 （次の世代へ）〜を伝える
10 はるかに・ずば抜けて
11 〜を好きになる・なじむ
12 （...と）〜を共通に持つ

背景知識 世界には約7000の言語があるとされ、複数の言語が日常的に使われる社会は珍しくない。スイスはドイツ語・フランス語・イタリア語・ロマンシュ語の四つを国語とし、シンガポールは英語・マレー語・中国語（標準中国語）・タミル語を公用語としている。一方で、話し手の少ない言語は大きな言語に押されて次の世代に伝わらなくなり、消滅の危機にある。日本のアイヌ語も消滅の危機にある言語の一つで、近年は学び直しや復興の動きが進んでいる。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 多くの日本人にとって、一つの言語で暮らすことは当たり前に思える。しかし世界の多くの地域では、二つ以上の言語を話すことは例外ではなく普通のことだ。スイスには四つの国語があり、シンガポールでは子どもが家ではある言語を、学校では別の言語を話すことも多い。そうした場所の人々は、毎日いくつもの言語**に接している**。

2 多言語社会には明らかな利点がある。二つの言語で育つ子どもは、二つの文化を内側から知る**ようになり**、その多くがこの二重のアイデンティティ**を誇りに思っている**。二言語を話す人は作業の切り替えにおいてほかの人**より有利だ**と主張する研究者もいるが、証拠はまだまちまちである。はっきりしているのは、隣人とその人の言語で話せることが信頼を築くということだ。

3 多言語であることは課題ももたらす。新しくやって来た人は、主要な言語**が苦手だ**と仕事を**見つけるのに苦労する**かもしれない。また、見慣れない言語で書かれた書類を受け取った職員は、どう手助けすればよいか**途方に暮れる**かもしれない。

4 小さな言語が大きな言語**に屈して**しまう危険もある。主要な言語のほうがよい仕事につながると親が信じると、家で自分たちの言語を話さなくなるかもしれない。ある言語が次の世代に**伝えられ**なければ、数十年のうちに消えてしまうこともある。日本では、今ではアイヌ語を流暢に話せる人はごく少数だが、それを復活させようとする取り組みは広がっている。

5 英語は今日、**ずば抜けて**最も広く学ばれている外国語である。しかし英語を学ぶことが、ほかの言語を失うことを意味する必要はない。子どもは新しい言語が自然に使われるのを聞くと、すぐにその言語**になじむ**ことが多い。また、全く違って見える言語どうしも、思っているより多くの**共通点を持っている**ことが多い。本当の多言語社会とは、機会と受け継いだ文化のどちらかを誰も選ばなくてよい社会なのである。

要旨 多言語社会には、二つの文化を知り信頼を築けるという利点と、言語の選択や少数言語の消滅という課題がある。英語を学びながらも、受け継いだ言語を失わずにすむ社会が理想である。

解答・解説 ANSWERS

問1 1 **問2 2** **問3 4**

問1 正解 1 根拠は第2段落の Some researchers have claimed that bilingual people have an advantage over others in switching between tasks, although the evidence remains mixed。よって 1 が正解。2 は get to know two cultures from the inside（二つの文化を内側から知るようになる）に反する。3 は「すべての点で」「証明された」が言い過ぎで、本文は主張があるだけで証拠はまちまちだとしている。4 は builds trust（信頼を築く）と逆。

問2 正解 2 根拠は第4段落の When parents believe that a major language offers better jobs, they may stop speaking their own language at home と If a language is not passed down to the next generation, it can disappear。よって 2 が正解。1 の法律による禁止は本文にない。3 の外国語の学びすぎも書かれていない。4 の学者がいなくなることも原因として挙げられていない。

問3 正解 4 根拠は最終段落の Yet learning English need not mean losing other languages。need not は「～する必要はない」なので、does not have to と言い換えた 4 が正解。1 の英語学習をやめるべきだとは言っていない。2 の英語がすべての言語に取って代わるという予測もない。3 は Children often take to a new language quickly（すぐなじむ）と逆である。